

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	日本人向け初歩のポルトガル語会話ラジオ講座							
団体名	財団法人 豊橋市国際交流協会							

***** 事業のポイント *****

日本人市民と外国人市民のトラブルの多くは言葉の壁によるコミュニケーション不足が大きな原因と考えられる。多文化共生の地域づくりのためには互いの言葉の学習が重要である。日本人市民向けの初歩のポルトガル語会話を楽しく学ぶ機会を広く市民に提供することで、相互理解の契機を促し、多文化共生の地域づくりを進める。

助成年度 区分	平成22年度 地域国際化協会等先導的施策支援事業	事業総額	1,896千円
------------	--------------------------	------	---------

事業の内容、成果等

【事業の背景】

平成21年3月に豊橋市が策定した「豊橋市多文化共生推進計画」「多文化共生推進プラン」において、多文化共生意識の学習機会づくり、安心して暮らせる環境づくりの具体的推進策としての外国人市民への日本語学習機会の充実に併せ、日本人がポルトガル語を学ぶ環境を提供することで、相互理解を進め、多文化共生の地域社会づくりの加速化を図るため本事業を豊橋市と連携して実施した。

【目的】

多文化共生社会の実現には、日本人市民も外国人市民も互いの文化や慣習の違い、考え方の違いを認め合い、互いを理解し合って、尊重することが重要である。

しかし、日本人市民と外国人市民のトラブルは決して少なくはないのが現状で、その多くは言葉の壁によるコミュニケーション不足が大きな原因と考えられている。多文化共生の地域社会づくりのためには互いの言葉の学習が重要である。

そこで、日本人市民向けの初歩のポルトガル語会話を楽しく学ぶ機会を広く市民に提供することで、相互理解の契機を促し、多文化共生の地域づくりを進めるため、本事業を実施した。

【内容】

地元エフエムラジオ局「エフエム豊橋」を通じ、日本人が初歩のポルトガル語会話を楽しく気軽に学べるラジオ番組「はなそうポルトガス」を放送。

ラジオ番組には当協会のポルトガル語講座の講師と、ラジオ局の人気パーソナリティーを起用し、敷居を低く、楽しく聴くことができる放送を心がけた。また、放送時間を短く(5分)して聴きやすくするとともに、お昼に放送することで会社の休憩時間等に気軽に聴講してもらうことができたようにした。(豊橋市役所では火曜日午後0時45分からの番組を庁内放送で流している)

さらに、放送時間には聴くことができない人、放送を聴き逃してしまった人のために、豊橋市と連携して、過去の放送を市のホームページ(http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kikaku/kohokocho/prog.html)からダウンロードすることができ



るようにした。(現在も、平成22年度分の放送をダウンロード可能)このことにより、エフエム豊橋の放送エリア外の人にも聴いてもらうことが可能となった。テキストについても、同様に当協会のホームページ(<http://www.toyohashi-tia.or.jp/hanaporu.htm>)から過去放送分についてもダウンロードできるようにし、ポルトガル語を気軽に学べる環境を整えている。

【成果・評価】

豊橋市は、浜松市に次いでブラジル人が多い市であり、日本人とブラジル人が相互理解を図り、多文化共生社会づくりのため、日本人向けのポルトガル語講座の実施はとても意義のあるものだと考える。

また、当番組における番組審議会では、「短い放送時間だが、まとまっていてよい」「ポルトガル語に触れてみよう、ブラジル人と仲良くなろうというコンセプトがよい」「ブラジル文化や風習についても触れられていておもしろい」などの評価を受けた。

また、平成22年度限りの事業とせず、継続事業として番組を放送している。



テキスト(5月分)

【課題】

・平成21年度の試行放送時には日本人向けのポルトガル語講座はなかったが、現在は NHK において同様の番組を放送している。(当協会が制作している番組よりも内容が充実しているため、リスナーがNHKの番組に移行する可能性がある。)

・市、当協会のホームページから、テキストや音声データのダウンロードが可能だが、アクセス数のカウンターを付けていないため、アクセス数の把握が不可能。また、番組自体も電波放送のため、聴取率は不明である。

【今後の展望】

ポルトガル語を学ぶだけでなく、ブラジル文化も紹介するコーナーを設け、異文化を知ることができる楽しい講座を放送していきたい。